

授業改善推進プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立光華小学校

学年等	項目	内容
令和2年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	○どの單元にも意欲的に参加する児童が多い。 ○物語文では、登場人物の気持ちや情景などの叙述を基に想像して読めており、単元テストは平均80点以上を上回っている。 ▲語彙が乏しく、言葉の理解や語句の選択が苦手なため、言葉についての知識・理解が不足している。 ▲自分の考えを書いたり、表現したりすることに苦手意識をもつ児童が多い。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・学習した漢字や言葉を文や文章の中で使おうとする態度と使える能力 ・叙述を基に、既習の知識や経験を結びつけながら、自分の考えを形成する能力
	具体的な授業改善の方策	・語彙を増やすために、授業で国語・漢字辞典を活用した授業を展開する。また、言葉の学習では、例文や練習として、児童が普段読み、書き、話している文を取り上げ、学習を広げるようにする。 ・対話活動を通して友達の考えを聞くことで、様々な考えを共有したり、対比したりして、自分の考えの幅を広げられるようにする。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○叙述をもとに、考えをもつことができるようになってきた。また、話し合いをすることによって、読みを深める楽しさを味わっている様子が見られる。 ○中心となる語や文を見つけて要約する力が少しずつ付いてきた。 ▲既習の漢字についての定着には二極化の傾向が見られる。日常生活の中で既習の漢字を使える児童はまだ少ない。知らない漢字を辞典で調べようという意欲は見られるようになってきた。
令和3年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	○段落ごとの内容を捉えて読むことができる。 ▲自分の考えを書いたり、表現したりすることに苦手意識をもつ児童が多い。 ▲漢字小テストに対する見直しをもって練習することができず、力を伸ばすチャンスにできていない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・自分の思いや考えを、効果的に伝えようとする力 ・見直しをもってテストに臨み、計画的に学習を進める能力
	具体的な授業改善の方策	・書くことの学習では、複数の例文を提示し選択したり応用したりして書き慣れるようにする。また、作品を読み合ったり、発表し合ったりしてよさを伝え合い、成就感を味わったり自信をもたったりできるようにする。 ・定期的に漢字の小テストを行い、取り組みや結果の振り返りを継続する中で、個人内評価や意欲を高められるようにする。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○書くことについては、例文を参考にしながら書き表す力が身に付いてきた。 ○漢字の小テストに向けてテスト勉強をしたり、結果を振り返りながら取り組み方を工夫したりするなど、意欲的に取り組む児童が増えた。 ▲書くことについて、調べた内容をまとめることはできるが、自分の考えや思いを書き表すことに苦手意識がある児童が多い。
令和4年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	○授業の交流を通して、考えを深めている児童が8割程いるが、まだ深めることができない児童も見受けられる。 ○書くことの課題に対して、意欲的に取り組める児童が多い。 ▲テスト勉強やドリルの提出物の締め切りなど、見直しをもって取り組むことが苦手な児童がいる。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・自ら課題を考えたり疑問を見つけたりして、主体的に学習する能力を養っていく。 ・友達や全体交流を通して、同じ考えの人や違う意見の考えの人を見つけ、自分の考えを深める能力を養っていく。 ・テストの予定日を把握し、その日までに、朝学習や自学ノートをなどを通して学習する能力を養っていく。
	具体的な授業改善の方策	・授業の導入で、単元の疑問を考えさせたり、課題を提示させたりして、「考えたい」という気持ちをもたせるようにする。 ・クラスで出た疑問点を全体で共有して課題解決できる学級経営を意識する。
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	